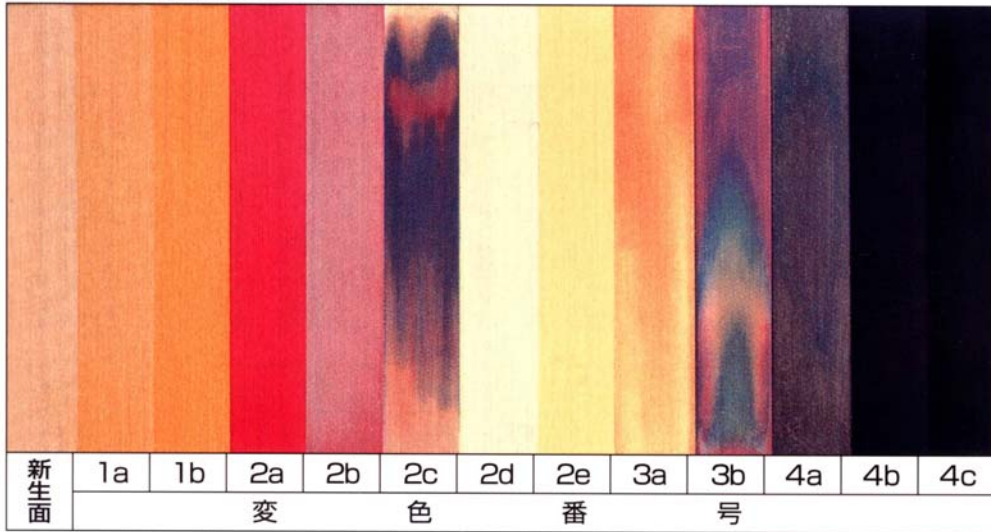


ASTM銅板腐食標準色見本



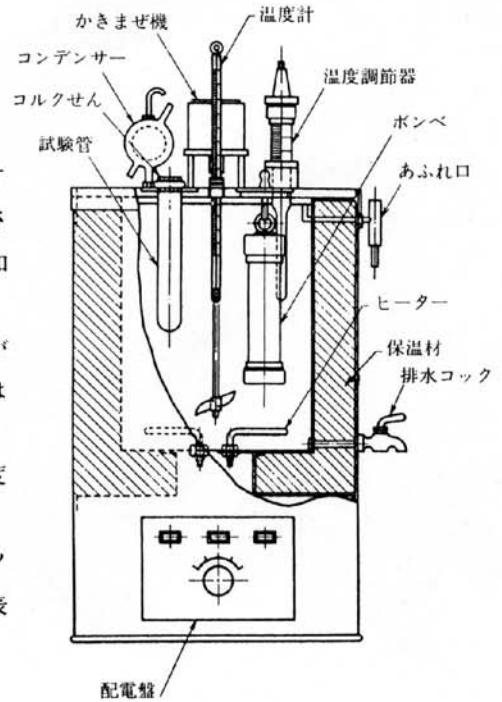
腐食試験

腐食試験について

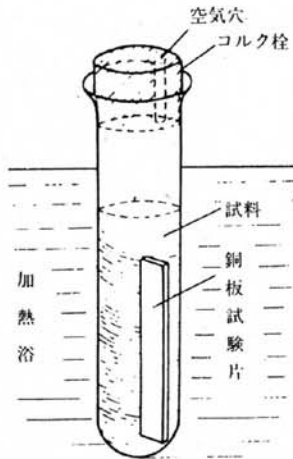
石油製品中に金属を腐食するような不純物、例えば遊離イオンや腐食性イオン化合物が含まれているとしばしば金属が冒されることがあります。そこで製品に腐食性があるかどうかを知るために行なうのが腐食試験です。

いろいろの金属の中で銅は腐食に対し敏感に反応する場合がありますので、腐食試験ではしばしば銅が用いられます。ここでは腐食試験の代表である銅板腐食試験について説明します。

この試験ではよく磨いた銅板を試料中に浸漬して、規定温度（ガソリン、灯油では50℃、潤滑油では通常100℃）で規定時間（通常は3時間）保ちます。そのあと銅板をとり出し溶剤（イソオクタン）で洗浄した上、銅板表面の色の変化を観察し、次表に従って腐食の程度を判定します。



銅板腐食分類表



銅板腐食試験(試験管法)

変色番号	変色の程度	摘	要
みがきた ての銅板	—		銅板腐食標準には、みがきたての銅板の面の状態を参考に示してあるが、全く腐食性のない試料によっても試験後にはこの状態は得られない。
1	わずかに 変色	うすいオレンジ色（仕上げ研磨銅板とほとんど同じ色） 濃いオレンジ色	(1 a) (1 b)
2	中程度に 変色	ピンク 紫がかったうすいピンク だいたい色の上に濃いピンク、紫がかった青などの多色模様 うすい金色がかった銀色 黄銅色ないし金色	(2 a) (2 b) (2 c) (2 d) (2 e)
3	濃く変色	黄銅色の上に赤茶色の模様 赤と緑をともなった多色模様（くじゃく様）	(3 a) (3 b)
4	腐色	生地が見える程度の緑がかった青紫ないし黒 黒鉛のような黒または光沢のない黒 光沢のある黒	(4 a) (4 b) (4 c)

腐食試験の重要性は

腐食性を示します。

石油製品は常に金属と接触しているので、これを腐食しないことが必要とされ、多くの製品について腐食試験が規定されています。